

# 高校世界史プリント（過去問類似） 現代（冷戦～グローバル化） No.3

名前

得点

/10

**問1** 冷戦期における核軍縮の歩みに関して、1962年のキューバ危機によって核戦争の危険性が強く認識された後、米ソを中心とする緊張緩和（デタント）の模索が始まった。この流れの中で、1972年の第1次戦略兵器制限交渉（SALT I）調印に先立つ1968年に署名され、米ソ英仏中の5カ国以外の国への核兵器の普及を防ぐことを目的とした多国間条約は何か。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 戦略兵器削減条約                      2. 核拡散防止条約                      3. 中距離核戦力全廃条約                      4. 部分的核実験禁止条約

**問2** 1991年のソヴィエト連邦崩壊後、初代大統領のエリツィンは急進的な市場経済化を進めたが、激しいインフレと経済混乱を招いた。その後、2000年に大統領に就任し、チェチェン紛争への強硬姿勢や資源価格の高騰を背景に中央集権体制を強化したロシアの政治家は誰か。（2009年 全国公立入試 類似）

1. エリツィン                      2. メドベージェフ                      3. ゴルバチョフ                      4. プーチン

**問3** 第二次世界大戦後の中国において、蒋介石率いる国民党と毛沢東率いる共産党との間で戦われ、最終的に国民政府が台湾へ移転する契機となった武力衝突を何というか。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 日中戦争                      2. 中越戦争                      3. 国共内戦                      4. 満州事変

**問4** 冷戦期の1951年、アジア・太平洋地域における共産主義の拡大に対抗するため、アメリカ合衆国、オーストラリア、ニュージーランドの3カ国間で結ばれた共同防衛条約は何か。（2018年 全国公立入試 類似）

1. 北大西洋条約機構                      2. 太平洋安全保障条約                      3. 日米安全保障条約                      4. 東南アジア条約機構

**問5** 1982年、南大西洋に位置する領土の領有権をめぐる、サッチャー首相率いるイギリスが、国内の不満をそらすために侵攻してきたアルゼンチンの軍事政権との間で戦った武力衝突を何というか。（2013年 全国公立入試 類似）

1. カシミール紛争                      2. カンボジア紛争                      3. アフガニスタン紛争                      4. フォークランド紛争

**問6** 第二次世界大戦後のドイツは連合国による分割占領を経て、1949年に東西に分裂した。このうち、アメリカ・イギリス・フランスの占領地域に樹立された国家が、主権を回復した1955年に加盟し、東側陣営との対立を決定づけた西側陣営の共同防衛組織の名称を答えよ。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 東南アジア条約機構                      2. 日米安全保障条約                      3. 中央条約機構                      4. 北大西洋条約機構

**問7** 1990年代前半、冷戦の終結にともない東欧の多民族国家が解体へと向かう過程で、激しい民族対立が生じた。この結果、第二次世界大戦後のヨーロッパで最大規模となる大量の難民が発生することとなった、一連の紛争を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ルワンダ内戦                      2. コソボ紛争                      3. ユーゴスラヴィア内戦                      4. チェチェン紛争

**問8** 1991年8月にソ連の保守派が起こしたクーデタに対し、市民とともにロシア共和国大統領府（ホワイトハウス）に立てこもって抵抗を呼びかけ、クーデタを失敗に追い込んでその後のソ連解体への主導権を握った人物は誰か。（2005年 全国公立入試 類似）

1. エリツィン                      2. マレンコフ                      3. スターリン                      4. プレジネフ

**問9** 第二次世界大戦後の朝鮮半島において、北緯38度線以北の地域に成立した社会主義国家の初代首相に就任し、のちに国家主席として独自の主体（チュチェ）思想を掲げて独裁体制を築いた人物は誰か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 李承晩                      2. 金日成                      3. 毛沢東                      4. 蒋介石

**問10** 1970年代の南アメリカでは、冷戦を背景に軍事独裁政権が相次いで誕生した。1973年に軍部のクーデタによって選挙で選ばれたアジェンデ社会主義政権が打倒され、その後にピノチェトによる軍事独裁体制が敷かれた国はどこか。（2008年 全国公立入試 類似）

1. ボリビア                      2. ブラジル                      3. チリ                      4. ペルー

## 答え合わせ・解説 No.3

|     |                    |   |
|-----|--------------------|---|
| 問1  | 答え 2<br>核拡散防止条約    | 1962年のキューバ危機を契機として、米ソ両国は核戦争の回避に向けた対話と緊張緩和（デタント）を進めた。その一環として、1968年に核保有国（米・ソ・英・仏・中）以外の国への核兵器の拡散を防ぎ、軍縮交渉を行う義務を課すこの条約が調印された。これは、1972年の戦略兵器制限交渉（SALT I）調印よりも前の時期にあたる。  |
| 問2  | 答え 4<br>プーチン       | 1991年のソ連崩壊後、ロシア連邦ではエリツィンが大統領として急進的な市場経済化を推進したが、経済混乱を招いた。1999年末にエリツィンが辞任した後、2000年に大統領に就任したプーチンは、チェチェン紛争の鎮圧や石油・天然ガスなどの資源輸出による経済成長を背景に、中央集権的な統治体制を確立した。なお、フルシチョフの平和共存提唱（1956年）、チェルノブイリ原発事故（1986年）、ソ連軍のアフガニスタン侵攻（1979年）はいずれもソ連崩壊前の出来事である。 |
| 問3  | 答え 3<br>国共内戦       | 第二次世界大戦の終結後、中国国内では国民党と共産党による政権争いが激化し、武力衝突へと発展した。この戦いで共産党が優勢となり、敗れた国民政府は1949年に台湾へ逃れることとなった。  |
| 問4  | 答え 2<br>太平洋安全保障条約  | 冷戦が激化する中、アジア・太平洋地域における安全保障体制を強化するため、1951年にアメリカ合衆国、オーストラリア、ニュージーランドの3カ国によって太平洋安全保障条約（ANZUS）が締結された。これは、同年に日本と結ばれた日米安全保障条約などとともに、アメリカを中心とする西側陣営の防衛網を形成する一環であった。  |
| 問5  | 答え 4<br>フォークランド紛争  | アルゼンチン沖の領有権をめぐり、1982年にアルゼンチン軍が島に侵攻したのに対し、イギリスのサッチャー政権が即座に艦隊を派遣して武力反撃を行い、勝利した。この敗北によりアルゼンチンの軍事政権は退陣を余儀なくされて民政移管が進み、イギリスではサッチャー政権の支持率が急上昇して緊縮財政政策（サッチャリズム）が推進される契機となった。   |
| 問6  | 答え 4<br>北大西洋条約機構   | 第二次世界大戦後、米・英・仏・ソによる分割占領下にあったドイツは、東西の対立が深まる中で1949年にドイツ連邦共和国（西ドイツ）とドイツ民主共和国（東ドイツ）に分裂した。西ドイツは1955年に主権を回復すると同時に、西側陣営の安全保障同盟である北大西洋条約機構（NATO）に加盟した。これに対抗して、同年に東側陣営はワルシャワ条約機構を結成し、東西の軍事対立が固定化することとなった。                                      |
| 問7  | 答え 3<br>ユーゴスラヴィア内戦 | 冷戦終結後の1990年代前半、スロヴェニアやクロアチア、ボスニア・ヘルツェゴヴィナなどの独立宣言を契機として、多民族国家であった連邦の解体に伴う激しい武力衝突が発生した。この紛争は「民族浄化」と呼ばれる凄惨な行為を伴い、第二次世界大戦後で最大規模の難民がヨーロッパ域内外へ流出する事態を招いた。   |
| 問8  | 答え 1<br>エリツィン      | 1991年のソ連クーデタにおいて、ロシア共和国大統領であったエリツィンは、戦車の上から市民にゼネストを呼びかけるなどして保守派のクーデタを阻止しました。この活躍によりエリツィンは急速に支持を集め、ゴルバチョフに代わって政治の実権を握り、同年12月のソ連崩壊へと導きました。  |
| 問9  | 答え 2<br>金日成        | 1948年9月に成立した朝鮮民主主義人民共和国において、初代首相に就任したのが金日成である。彼は朝鮮労働党を率いて権力を集中させ、朝鮮戦争後には独自の主体思想を指導理念として確立し、長期にわたる独裁体制を敷いた。  |
| 問10 | 答え 3<br>チリ         | 1973年、アジェンデ大統領率いる社会主義政権が軍部のクーデタによって打倒された舞台はチリである。クーデタを主導したピノチェトは、その後大統領に就任して強権的な軍事独裁体制を敷き、新自由主義的な経済政策を導入した。   |